



# 琵琶湖の価値

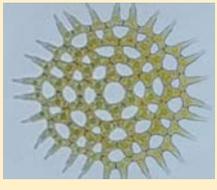
琵琶湖は、次のような様々な価値をもち、わたしたちに多くの恵みを与えてくれます。

## 1 豊かな自然環境としての価値

豊かな水量と広々とした空間をもち、様々な生物を育む琵琶湖が、長い歴史を持って自然界に存在することが大きな価値であり、県民の心のよりどころともなっています。

### プランクトン(7種)

- ビワクンショウモ
- ビワクンショウモの1変種
- ビワクンショウモの1変種
- ビワツボカムリ
- ビワミジンコ
- スズケイソウ
- スズケイソウモドキ



ビワクンショウモ

写真提供：  
琵琶湖環境科学研究センター

### 水草(2種)

- ネジレモ
- サンネンモ



ネジレモ

写真提供：  
琵琶湖環境科学研究センター

## ◆琵琶湖水系に生息する固有種

### 底生動物(37種)

- |            |             |
|------------|-------------|
| ビワオオズムシ    | ※イカリビル      |
| ビワカマカ      | アナンデルヨコエビ   |
| ナリタヨコエビ    | ビワコシロカゲロウ   |
| ビワコエグリトビケラ | ※カウムラナベプタムシ |
| ナガタニシ      | ホソマキカワニナ    |
| ビワコムズシタミ   | クロカワニナ      |
| フトマキカワニナ   | ナングウカワニナ    |
| タテヒダカワニナ   | モリカワニナ      |
| ハベカワニナ     | ナカセコカワニナ    |
| イボカワニナ     | オオウラカワニナ    |
| ヤマトカワニナ    | タテジワカワニナ    |
| カゴメカワニナ    | タケシマカワニナ    |
| シライシカワニナ   | カドヒラマキガイ    |
| オウミガイ      | イケチョウガイ     |
| ヒロクチヒラマキガイ | オトコタテボシガイ   |
| タテボシガイ     | メンカラスガイ     |
| ササノハガイ     | オグラヌマガイ     |
| マルドフガイ     | カウムラメシジミ    |
| セタシジミ      |             |

### 魚類(15種)

- ビワマス
- アブラヒガイ
- ビワヒガイ
- ホンモロコ
- スゴモロコ
- ワタカ
- ゲンゴロウブナ
- ニゴロブナ
- ビワコオオナマス
- イトコナマス
- イサザ
- ビワヨシノボリ
- ウツセミカジカ
- スジシマドジョウ
- 大型種
- スジシマドジョウ
- 小型種琵琶湖型



イケチョウガイ

写真提供：松田征也  
「滋賀県で大切にすべき野生生物 2005年版」より



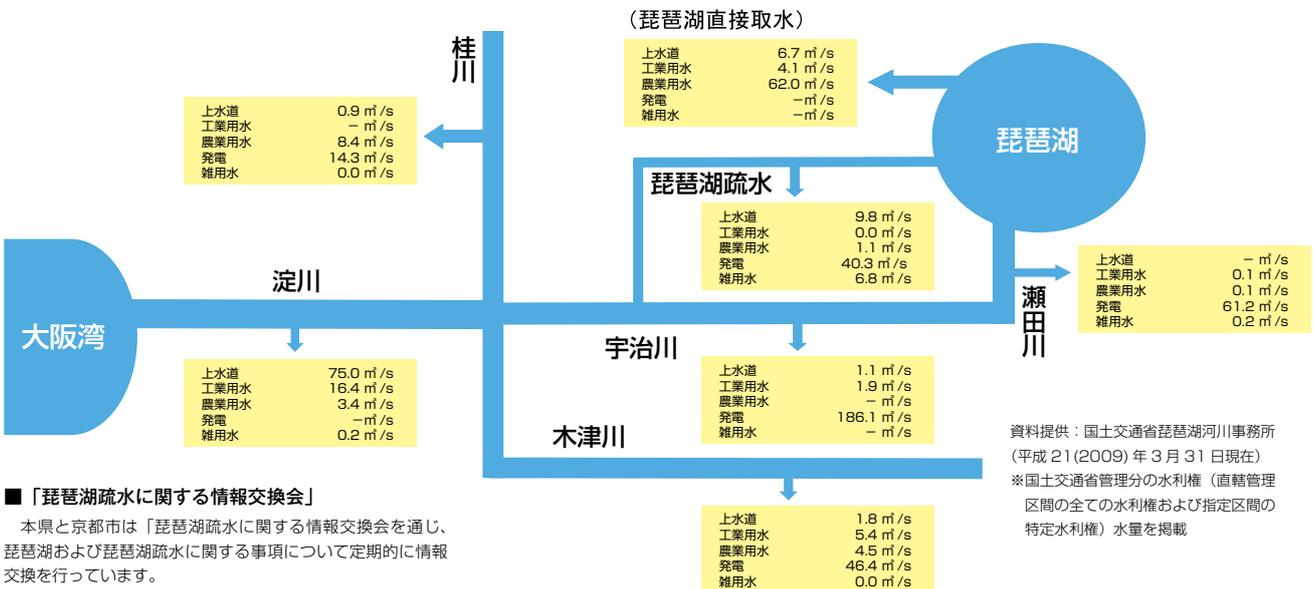
ニゴロブナ

写真提供：琵琶湖博物館

※：既に絶滅したと考えられる固有種  
出典：「Nishino and Watanabe (2000) :Evolution and endemism in Lake Biwa, with special reference to its gastropod mollusc fauna」, 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課 (2005) 「滋賀県で大切にすべき野生生物 2005年版」 琵琶湖ハンドブック編集委員会 (2007) 「琵琶湖ハンドブック」 琵琶湖の固有種 (西野)

## 2 水源としての価値

琵琶湖は、近畿約1,400万人の水道水源であり、その他農業用水・工業用水などに利用されています。



### ■「琵琶湖疏水に関する情報交換会」

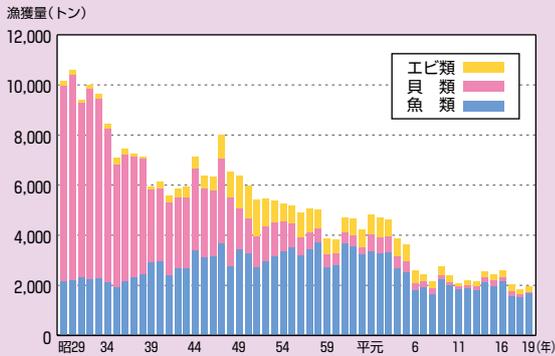
本県と京都市は「琵琶湖疏水に関する情報交換会を通じ、琵琶湖および琵琶湖疏水に関する事項について定期的な情報交換を行っています。

資料提供：国土交通省琵琶湖河川事務所  
(平成21(2009)年3月31日現在)  
※国土交通省管理分の水利権(直轄管理  
区間の全ての水利権および指定区間の  
特定水利権)水量を掲載

### 3 水産業の場としての価値

コアユ、ニゴロブナ、ホンモロコ、ビワマスなどの魚類をはじめ、セタシジミ、スジエビなど、平成19(2007)年には、1,962トンの水揚げがありました。

#### ◆類別漁獲量の推移



琵琶湖の魚介類は独特の漁法で獲られ、ふなずしなどのなれずしや湖魚の佃煮、あめのうお御飯などの伝統食として、滋賀県の産業や食文化を支えています。



セタシジミ



ホンモロコ



ビワマス



コアユ



湖魚の佃煮



ふなずし



水浴場 (大津市)



竹生島

### 4 観光資源としての価値

20箇所を超える水浴場と年間約4,507万人の観光客(平成20(2008)年の滋賀県への観光客(速報値))を数えます。

### 5 ラムサール条約湿地としての価値

琵琶湖は、平成5(1993)年に「ラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)」の登録湿地となりました。平成20(2008)年には、県内最大の内湖であり、琵琶湖と長命寺川でつながっている西之湖が拡大登録されました。

沿岸市町と県が琵琶湖ラムサール条約連絡協議会を設立し、環境保全活動の支援、普及活動を行っています。



### 6 学術研究の場としての価値

琵琶湖は生物・生態系、湖底遺跡などの学術研究の場となっており、県の試験研究機関だけでなく、大学なども研究機関を設置し、各種研究を行っています。

滋賀県の地勢

琵琶湖の  
あらし

滋賀県の環境  
行政の枠組み

豊かで美しい  
自然環境の保全

健全な水環境  
の保全

快適な生活環  
境の保全

クリーンな  
新エネルギー  
の開発・導入

ゼロ・エミッ  
ションの取組  
の推進

確実な環境配  
境の実践

新たな環境活  
動基盤の整備

地域における  
環境づくり

新滋賀県環  
境総合計画  
の点検・評価

滋賀県庁の環  
境負荷低減へ  
の取組

滋賀の環境の  
あゆみ